

# 実験 8

## 身近な川のことを調べてみよう

### 実験の概要

身近な川の洪水履歴や名前の由来など、さまざまなことを調べたり聞いたりして、壁新聞にまとめます。

### 実験のねらい

身近な川について、いろいろなことを知ってもらうことがねらいです。静かに流れている川もかつては「暴れ川」として洪水を起こしていたり、洪水に基づいた名前がつけられていたりします。いろいろなことを取材し、壁新聞にまとめ、川への理解を深めていただきたいと思います。

### 実験の前に

身近な川について、調べてみましょう。静かに流れている川もかつては「暴れ川」として洪水を起こしていたかもしれません。川の名前は何に由来しているのでしょうか。橋の位置は昔から同じでしょうか。昔の川の様子はだれに聞いたら、どこで調べたら分かるのでしょうか。現在の状況も調べましょう。橋、堤防はどこにあるでしょうか。どんな生き物がすんでいるでしょうか。

### 用意するもの

市町村史、治水史等(水害履歴が掲載されている冊子)、地図、筆記用具

### 実験の準備

クラスをいくつかのグループに分けておこなうと良いでしょう。

### 実験の手順

1. 図書館や市町村役場などに行って資料を収集したり、インターネットを利用したり、地域の方に話を聞いたりして、調べる。  
…調べる項目は以下のようなものが挙げられます；
  - ・水災害の履歴
  - ・川の名前の由来
  - ・日常生活における利用
  - ・川に生活する生き物…水災害、川の名前に関する資料は、以下のようなものが適しています；  
[収集資料リストの例]
  - ・市町村史  
図書館、市町村役場にあります。  
通常、災害の履歴は一つの章や節にまとめて書かれています。
  - ・治水史  
河川の水災害や工事の履歴が書かれているものです。  
市町村役場、河川管理事務所にあります。
  - ・地域防災計画  
災害対策基本法に基づいて作成されたものです。  
市町村役場にあります。[ホームページの例]
  - ・自治体のホームページ
  - ・北海道開発局の各開発建設部のホームページ(「水防災教育実施マニュアル」に一覧表がありますので、参照ください)



2. 川の周辺を歩き、橋の位置や堤防の位置を確認し、地図に印をつける。  
…地図は、学区内や周辺の様子が分かるもので良いです。



